

三瓶町誌 上巻 目次

発刊にあたって

発刊によせて

凡例

三瓶町長 植田 卯三男
教育長 上 甲 誠 吉

第一編 自然

第一章 位置と面積……………三

第一節 位置……………三

一 地理上の位置……………三

二 人文的位置(交通)と区域……………四

第二節 面積……………六

一 総面積……………六

二 地目別の面積……………六

第二章 地形と地勢……………八

第一節 地形地勢……………八

目次

第二節 山系と峠 九

第三節 水系 一二

一 河川 一二

(1) 朝立川 (2) 谷道川 (3) 三島川 (4) このほかの河川 (5) 河川一覧表

第三章 地形と地質

第一節 地形 一五

一 概説 一五

二 山地 一六

三 湾頭低地 一八

四 水系と谷 二〇

五 海岸地形 二二

六 海底地形 二七

第二節 地質 三〇

一 概要 三〇

二 地質各説 三一

1 秩父帯 2 御荷鉾構造帯 3 黒瀬川構造帯 4 三島層 5 真穴層

6 二及層 7 高島層 8 おんち 9 須崎の地形・地質見学 10 須崎の化石

第三節 応用地質 六三

一 概説 六三

二 銅鉱床 六四

1 垣生鉱山

三 マンガン鉱床 六五

1 蔵貫鉱山 2 平岩鉱山 3 有網代鉱山

四 クローム鉄鉱床 六八

1 鴨山鉱山

五 窯業原料鉱物 六九

第四章 地質と土壌

第一節 土壌の概要 七一

一 土壌生成 七一

1 気象条件 2 母岩・母材

二 三瓶の土壌 七八

1 赤黄色土 2 グライ土壌 3 黄褐色森林土壌

三 土の保全 八九

第五章 気 候

九四

第一節 気 温

九四

第二節 降 雨 量

九六

第三節 天 候

九八

第四節 自然災害

一〇一

一 地震・津浪災害

一〇一

二 近代における主な災害(愛媛県史・宇和島測候所の記録から)

一四六

第六章 生 物

一六九

第一節 植 物

一六九

第二節 動 物

一八九

一 獸 類(哺乳類)

一八九

二 鳥 類

一九〇

三 魚 貝 類

一九一

四 昆 虫 類

一九一

第七章 町内の小字

二〇〇

第二編 人 文

第一章 行政及び財政

二二一

第一節 町人口の変遷

二二一

第二節 村政時代

二二九

一 市制・町村制の公布と地方自治制の確立

二二九

1 市町村制の公布と市町村の誕生 2 議会と執行部 3 財政の変化

二二九

二 郡制の発足と成果

二三四

三 選挙制度の変遷

二三九

四 大正・昭和の社会情勢

二四六

1 昭和初期の農村恐慌 2 教員給の寄付減俸

二四六

五 工場誘致と港湾・鉄道問題

二五五

1 工場誘致 2 港湾改修 3 鉄道問題

二五五

六 戦時下の行政

二六三

1 大政翼賛会 2 予算面での特徴 3 物資配給 4 振興

二六三

七 災害と行政

二七〇

八 戦争と生活

二七三

九 戦後の地方自治

二七六

1 昭和二十年代の情勢の推移	2 愛郷同志会	3 役場庁舎の建築	二八一
第三節 三瓶町政			二八一

一 町村合併	二八一
--------	-----

1 合併の経過	2 新村建設計画	3 祝賀行事	二八四
---------	----------	--------	-----

二 し尿処理場設置と紛争	二九四
--------------	-----

三 三瓶町財政の情況	三〇〇
------------	-----

1 昭和三十年年度	2 赤字財政再建団体へ転落	3 昭和四十年年度	4 昭和
-----------	---------------	-----------	------

五十年年度	5 昭和五十六年度	6 昭和五十七年度	三〇二
-------	-----------	-----------	-----

四 三瓶町行政組織	三一二
-----------	-----

五 各種委員会及び委員名	三一四
--------------	-----

1 監査委員	2 固定資産評価審査委員会	3 選挙管理委員会	4 農業委
--------	---------------	-----------	-------

員会

六 合併前の理事者・議員	三三六
--------------	-----

1 旧町村長	2 助役	3 収入役	4 町村会議員
--------	------	-------	---------

七 合併後の町理事者・議員	三七七
---------------	-----

1 町理事者	2 町議会	3 町議会議員	4 広報協議会長
--------	-------	---------	----------

第四節 土 木	三九七
---------	-----

一 土地造成	三九九
--------	-----

1 三瓶地区	2 二本生地区	四〇一
--------	---------	-----

二 道路と橋梁	四一〇
---------	-----

三 港 湾	四一〇
-------	-----

四 防災事業	四一一
--------	-----

第五節 兵事と戦争	四一三
-----------	-----

一 軍事兵役	四一三
--------	-----

1 徴兵制度	2 徴兵検査	3 兵役	四一六
--------	--------	------	-----

二 軍人援護の団体	四一六
-----------	-----

1 在郷軍人分会	2 軍友会	3 三瓶町軍友会	4 婦人の軍事援護団体
----------	-------	----------	-------------

三 日清戦争	四二〇
--------	-----

1 日清戦争の概況	2 日清戦争と松山歩兵第二連隊	四二二
-----------	-----------------	-----

四 日露戦争	四二二
--------	-----

1 日露戦争の概況	2 日露戦争と松山第二連隊	四二七
-----------	---------------	-----

五 第一次世界大戦	四二七
-----------	-----

1 第一次世界大戦の概況	2 第一次世界大戦余録	四三二
--------------	-------------	-----

六 シベリア出兵事変	四三二
------------	-----

1 シベリア出兵事変の概況	2 シベリア出兵と三瓶町	四三三
---------------	--------------	-----

七 満洲・上海事変	四三三
-----------	-----

八 太平洋戦争.....四三六

 1 満洲事変の概況 2 満洲事変及び上海事変と三瓶町

 1 太平洋戦争の概況 2 太平洋戦争と松山歩兵第二連隊の活躍 3 太平洋戦争と三瓶町

(1) 応召の概況と郷士の防衛 (2) 戦没者一覧表 (3) 戦没者の慰霊 (4) 統後の町村民生活

第六節 民生.....四五二

一 社会福祉.....四五二

- 1 社会福祉の変遷
- 2 児童福祉
- 3 母子福祉・母子保健
- 4 老人福祉
- 5 精神薄弱者福祉
- 6 身体障害者福祉
- 7 戦傷病者、戦没者遺族福祉
- 8 町営住宅福祉
- 9 失業対策福祉
- 10 三瓶町社会福祉協議会
- 11 日本赤十字社事業

二 国民年金.....五〇一

三 医療と国民健康保険.....五〇七

- 1 医療機関
- 2 医療保険

四 環境衛生.....五一五

- 1 上水道及び簡易水道
- 2 塵埃処理
- 3 し尿処理
- 4 下水道
- 5 隔離病舎(避病院、避病舎)
- 6 火葬場
- 7 三明総合衛生センター

第七節 治安と消防.....五三五

一 治安警察.....五三六

- 1 警察官署配置の沿革

二 消防団.....五三九

- 1 三瓶町消防団の沿革
- 2 女子火防隊
- 3 三瓶町の火災記録
- 4 町村合併以降の火災および交通事故発生状況
- 5 三瓶町消防団の整備状況
- 6 三瓶町消防団編成および定員表
- 7 三瓶町消防団歴代団長ならびに表彰者
- 8 三瓶町消防団表彰歴ならびに消防予算額対比
- 9 ポンプ操法大会郡優勝分団

三 司法登記所.....五五七

- 1 地方裁判所の沿革
- 2 司法登記所(三瓶)の沿革

第二章 明治以後の交通・通信.....五五九

第一節 陸上交通.....五五九

一 明治時代.....五五九

二 大正時代.....五六四

三 昭和になって.....五六七

- 1 バス開通
- 2 貨物自動車の出現

四 太平洋戦争後の陸上交通.....五六九

- 1 自動車の増加
- 2 道路の改良
- 3 三瓶トンネル引下げ

第二節 海上交通

- 一 帆船時代……………五七九
- 二 汽船の出現(沿岸航路)……………五八三
- 三 客船の衰微……………五八七
- 四 二及の機帆船……………五八八
 - 1 帆船時代
 - 2 機帆船時代の幕明け
 - 3 鋼船への転換

第三節 通 信

- 一 郵便事業……………五九五
- 二 電信・電話……………六〇四
- 三 ラジオ・テレビ・新聞……………六一二
- 四 放送施設……………六一五
 - 1 九区農事放送(テレホン)
 - 2 地区別放送施設

第三章 産業・経済

第一節 概 況

- 一 産業の分布……………六二〇
- 二 土地利用……………六二二

第二節 農 業

- 一 近代の農業……………六二三
- 二 養蚕業と甘藷栽培……………六二九
 - 1 養蚕業
 - 2 甘藷栽培
- 三 農民生活……………六三七
- 四 現代農業……………六三八
 - 1 米に関する法令・品種
 - 2 農薬
 - 3 農業用機械
 - 4 柑橘
 - 5 南予用
 - 6 昭和三十五年(一九六〇)合併後の園芸より

第三節 畜 産

- 一 牛 馬……………六六二
 - 1 牛
 - 2 乳牛
 - 3 馬
- 二 養 鶏……………六六七
- 三 養 豚……………六七一
- 四 その他……………六七六

第四節 林 業

- 一 林業の推移……………六七八

第五節 水 産 業

- ……………六八七

一 水産業の推移	六八七			
二 近海漁業	六九三			
1 地曳き網	2 四ツ張り網	3 巻網		
三 遠海遠洋漁業	七〇五			
1 韓国水域出漁	2 突樺船	3 サバ釣漁業	4 北方漁場	5 漁船だ捕
四 養殖業(真珠からはまちへ)	七一四			
1 真珠	2 はまち養殖	3 ウニ採取(下泊地区)		
五 内水面漁業	七二六			
六 製塩	七二八			
第六節 商工業	七三一			
一 職人と製造業	七三一			
二 商業	七三一			
三 工業	七四四			
1 生蠶業	2 酒醸造業	3 木綿織り	4 紡績工場	5 製糸その他
第七節 鉱業	七六一			
一 鉱産物	七六一			
二 砕石	七六四			
第八節 金融	七六五			
一 初期の金融	七六五			
二 金融機関の沿革	七六六			
1 銀行	2 協同組合	3 郵便局		
第九節 産業基盤整備と土地造成事業	七七四			
一 土地造成事業	七七四			
二 耕地整理	七七六			
1 朝立地区	2 垣生地区	3 津布理地区	4 朝立揚地区	5 蔵貫浦地区
三 井堰とかんがい水路	七七九			
四 かんがい用ため池	七七九			
五 農道と林道	七八一			
1 農道	2 林道			
六 漁港および防波堤	七八三			
第十節 農地改革と漁業改革	七八六			
一 農地改革	七八六			
二 漁業改革	七八九			

第十一節 産業団体組織	七九五
一 農業協同組合	七九五
二 農業共済組合	八〇二
三 森林組合	八〇五
四 漁業協同組合	八〇七
五 商工会	八一〇
六 西南加工農業協同組合	八一七
第十二節 農業委員会と漁業調整委員会	八二二
一 農業委員会	八二二
二 漁業調整委員会	八二七
第四章 教 育	八三〇
第一節 明治時代と教育	八三〇
一 小学校教育の普及	八三〇
二 尋常小学校	八三七
三 尋常高等小学校の設立	八四三
四 就学率の向上を目指して	八四八
五 実業補習学校	八六五
六 明治時代の学校行事や校内生活	八六八

第二節 大正・昭和初期の教育	八七一	
一 不就学児童と就学補助	八七一	
二 青年会(後の青年団)の育成	八七三	
三 青年訓練所から青年学校へ	八七四	
四 大正から昭和の初めの児童の生活	八七八	
五 学校病対策	八八一	
六 三島尋常高等小学校統合問題	八八二	
第三節 戦時体制と教育	八九〇	
一 新学制の発足	八九〇	
二 不自由さを増した学校生活	八九二	
三 三瓶小学校主要行事(昭和十六～二十年)	八九四	
第四節 戦後の教育	九〇二	
一 新学制の発足	九〇二	
二 小学校の教育課程の変遷	九〇三	
三 新制中学校の設置	九〇五	
1 校舎及びグラウンド	2 生徒	3 その他の分野

四 戦後の教育機器	九〇九
五 制服の制定	九一〇
六 宿泊行事	九一一
1 小学校の修学旅行	2 中学校の修学旅行
3 少年自然の家	
七 体育行事	九一四
1 小学校の体育行事	2 中学校の体育行事
八 学芸的行事	九一六
九 中学卒業後の動向の変異	九一七
十 昭和二十年代の学校生活	九一八
第五節 各校の主な沿革	九三二
一 小学校	九三二
1 下泊小学校	2 藏貫小学校(皆江小学校も含む)
3 三瓶小学校	4 二
木生小学校	5 周木小学校
二 中学校	九四二
1 三瓶南(三島)中学校	2 三瓶北(二木生)中学校
3 三瓶東(三瓶)中学校	
4 三瓶中学校	
第六節 高等学校の教育	九五四
一 学校設置の概況	九五四

二 第二山下実科高等女学校の誕生	九五八
三 戦時下の女学校教育	九六二
四 西南中学校併設	九六五
五 県立三瓶高等学校	九六七
第七節 本町における幼児教育とその施設	九七四
一 聖美保育園	九七四
二 学校法人三瓶幼稚園	九七六
第八節 学校給食	九八〇
一 戦前の学校給食	九八〇
二 戦後の学校給食	九八一
1 ミルク給食	2 補食給食
3 完全給食	4 三瓶町学校給食センター
5 三瓶小学校栄えある全国表彰	
第九節 社会教育	九九〇
一 社会教育の発達	九九〇
1 明治期	2 大正期
3 戦前昭和期	4 戦後期
二 社会教育団体の活動	九九三
1 若衆組	2 青年団
3 PTA(父母と教師の会)	4 婦人会
5 三	
瓶町体育協会、三瓶武道館	6 三瓶町文化協会

第十節 教育行政機構……………一〇三九

一 学区世話掛……………一〇三九

二 教育令当時の学務委員……………一〇四〇

1 村立開道学校創立 2 地元民の寄付行為

三 小学校令による学務委員……………一〇四四

1 学務委員の任務 2 学務委員一覽表

四 教育委員会……………一〇六〇

1 教育委員会の変遷 2 教育委員会業務組織 3 歴代教育委員 4 社会

教育委員 5 体育指導委員 6 三瓶町育英会 7 教育の町宣言

8 青少年健全育成 9 三瓶町の同和行政

五 公民館活動……………一〇八一

1 公民館則 2 公民館運営審議委員会 3 公民館事業計画書 4 公民館

結婚式 5 生活改善 6 同和教育 7 公民館歴代館長 8 公民館分

館

第五章 宗 教……………一一〇五

第一節 概 説……………一一〇五

一 古代の宗教……………一一〇六

二 中世の宗教……………一一〇八

三 藩政時代の宗教……………一一一一

1 宗門改帳 2 寺院の本末制 3 「吉田古記」に記載された神社や寺

4 民間信仰

四 明治以後の宗教……………一一二二

第二節 神 社……………一一二五

1 神谷神社 2 国造神社 3 賀茂神社 4 客神社 5 国造神社II仲森

鎮座 6 大本神社 7 天満神社 8 八幡大神宮 9 金刀比羅神社

10 国造神社 11 祇園神社 12 三島神社 13 三島神社 14 松尾神社

15 国造神社 16 三瓶神社夜話

第三節 寺 院……………一一四九

1 光勝寺 2 道安寺 3 海福寺 4 三宝寺 5 地福寺 6 景雲寺

7 高福寺 8 松寿院 9 金光寺 10 善福寺 11 見光寺 12 薬師庵

第四節 その他の宗教……………一一六二

1 天理教 2 金光教 3 佼成会 4 創価学会 5 浄土真宗 6 法華

宗 7 基督教 8 その他

第五節 古塔および供養塔……………一一六四

1 姫塚 2 局の墓 3 庚申塚 4 海難者の墓 5 平家様の墓 6 須

崎観音 7 三好藤倉人の墓 8 戦没慰霊の塔 9 餓死者供養地蔵

10 牛馬供養地蔵 11 揚の地蔵

第六節 祭り神と霊場 一一六八

- 1 杖突様の霊場
- 2 大神社様
- 3 愛宕様
- 4 西国三十三か所と四国八十八か所

付録

- ア 郷社、三瓶神社臨時祭典のこと
- イ 鳴山における口碑

第一編 自然